

2018年11月1日

## 大企業に眠る有望な新規ビジネスアイデアを素早く事業化する 株式会社 BeeEdge（ビーエッジ）への出資について

- ・大企業の社内に眠るビジネスアイデアをオープンイノベーションを通じて事業化
- ・他国に比べて低い日本の起業率を向上させるための新たなモデルケース
- ・他の大企業にも水平展開することで、日本における企業全体の活性化を期待

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、株式会社 BeeEdge（本社：東京都港区、代表取締役社長：春田真、以下「BeeEdge」）に対し、同社の事業展開を推進するための資金として、10億円を上限とする出資を行うことを決定し、段階的な投資の初回投資として、3.83億円を出資します。

BeeEdge は、新規ビジネスの創出促進を目的に、本年3月、シリコンバレーを拠点とする VC の Scrum Ventures（スクラムベンチャーズ）と総合家電大手のパナソニック株式会社の出資により設立された合弁会社です。具体的には、パナソニックの家電事業等を所轄する社内カンパニーのアプライアンス社の中で、有望ではありながら事業規模など様々な理由からパナソニック本体では事業化できなかったビジネスアイデアを BeeEdge が引き取ることにより、スピード感を持って事業化につなげます。

一般的に大企業では、社内に有望な新規のビジネスアイデアがありながら、社内に引き受ける部署がない、事業規模が一定の大きさに満たない、ブランド要件を満たさないなど、様々な理由で事業化に至らず、眠ったままの状態にあるケースが見受けられます。BeeEdge では、このような事業シーズを従来の枠組みにとらわれない環境下で素早く事業化することを目指しており、有望案件については事業会社を設立し、事業化ステージごとに、その都度、適切な投資・支援を行っていきます。

INCJ としては、今回の BeeEdge の取り組みは、このような大企業内の閉塞感を打破するものであり、他国に比べて圧倒的に起業率の低い我が国における新しい起業の在り方、また新規事業創出のモデルケースにもなり得ると判断し、今回の出資を決定しました。INCJ は、この取り組みが成功事例となり、他の大企業にも展開されることを期待し、資金支援だけでなく、BeeEdge の事業運営や INCJ ポートフォリオとの連携、中立性によるオープンイノベーションの推進等にも寄与していくこととなります。

### 株式会社 BeeEdge について

設 立 : 2018 年 3 月

本 社 : 東京都港区

代表者 : 春田 真

事業内容 : 大企業発スタートアップに対する投資・事業化支援

### パナソニック株式会社 アプライアンス社

設 立 : 2012 年 1 月

本 社 : 滋賀県草津市

代表者 : 本間 哲朗

事業内容 : 家電事業、食品流通・冷熱分野等の B to B 事業

### パナソニック株式会社

設 立 : 1935 年 12 月 (創業 1918 年 3 月)

本 社 : 大阪府門真市

代表者 : 津賀 一宏

事業内容 : 総合家電大手

家電、住宅、車載、B to B 事業

### Scrum Ventures LLC

設 立 : 2013 年 2 月

本 社 : サンフランシスコ

代表者 : 宮田 拓弥

事業内容 : シリコンバレーを拠点にアーリー

ステージのスタートアップに投資する VC

### 株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井  
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階  
電 話 : 03-5218-7202

【別紙】

新規支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 事業者名 : 株式会社 BeeEdge
- ・ 設立 : 2018年3月
- ・ 所在地 : 東京都港区
- ・ 代表者 : 春田 真
- ・ 事業内容 : 大企業発スタートアップに対する投資・事業化支援

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額 : 10億円(上限)
- ・ 実投資額 : 3.83億円(段階的な投資の初回投資として)
- ・ 共同投資家 : Scrum Ventures LLC、パナソニック株式会社
- ・ 株式保有割合 : INCJ (33.8%)、Scrum Ventures (33.8%)、パナソニック (32.4%)
- ・ 投資ストラクチャー図 : 別紙

3. 投資意義

<社会ニーズへの対応>

- ・ 大企業に眠るシーズをオープンイノベーションを通じて事業化する試みであり、日本の大企業によるイノベーション・新規事業創出の一つのモデルケースとなり得る。
- ・ 米国を始めとする他国に比べて、圧倒的に起業率の低い我が国において、この取り組みは大企業に居ながら起業できる仕組みであり、日本的起業の在り方の一つのモデルとなり得る。

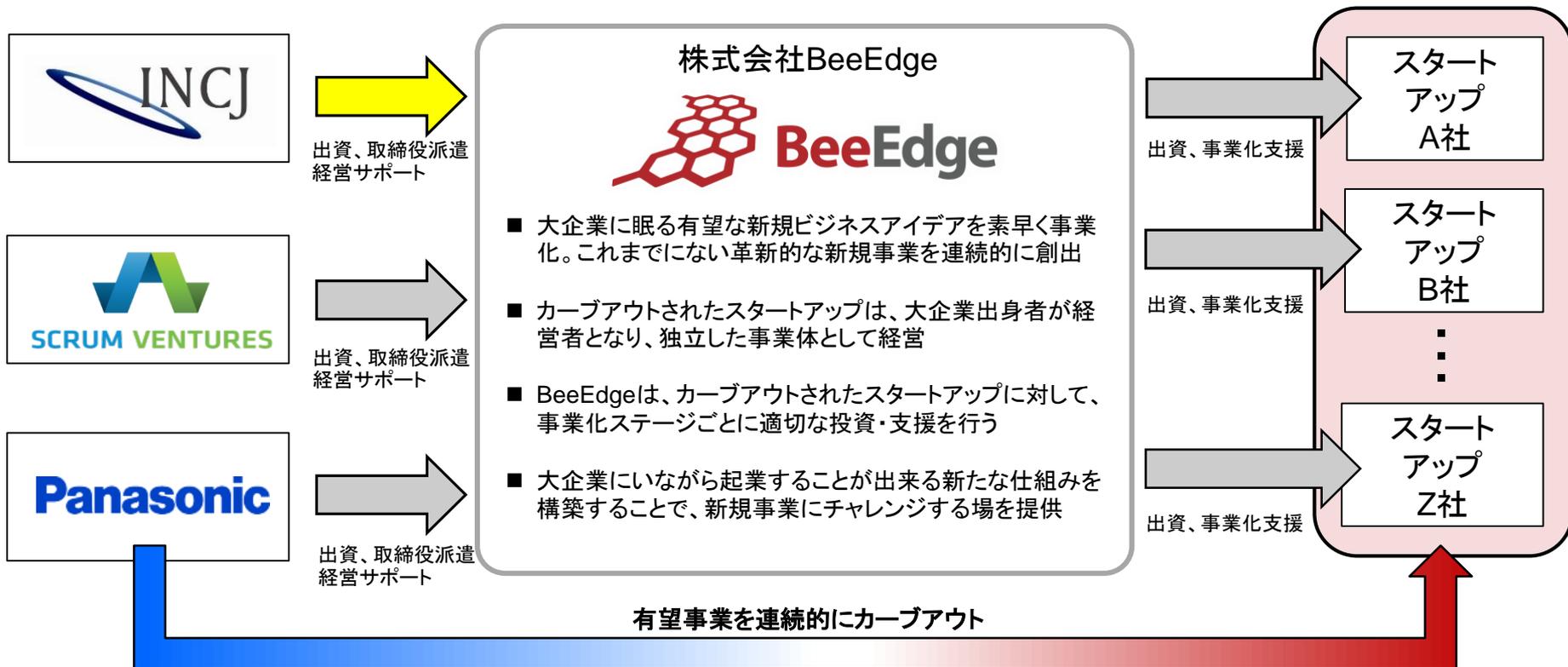
<成長性>

- ・ 社内に眠る事業シーズを投資先企業を通じて新規事業として立ち上げることで、新たな付加価値の創出が見込まれる。

<革新性>

- ・ これまで、革新性がありながら様々な理由で事業化できなかったシーズが事業化されることで、社会的にインパクトのある本取り組みが成功事例となり、他の大企業への展開が期待される。
- ・ 革新的な新製品・新サービスが連続的に創出される可能性。

投資対象：株式会社BeeEdge(ビーエッジ)  
事業内容：大企業に埋もれる新規ビジネスの事業化推進支援  
支援決定金額：10億円(上限)  
支援決定公表日：2018年11月1日



- ・ 大企業の社内に眠るビジネスアイデアをオープンイノベーションを通じて事業化
- ・ 他国に比べて低い日本の起業率を向上させるための新たなモデルケース
- ・ 他の大企業にも水平展開することで、日本における企業全体の活性化を期待